

## 着任の挨拶

ナレッジプラットフォーム部門  
一藤 裕

### 経歴とこれまでの研究について

2016年4月1日より長崎大学 ICT 基盤センターの准教授として着任しました一藤 裕(いちふじ ゆう)です。2010年に東北大学大学院博士後期3年の課程を修了し博士(情報科学)の学位を取得後、同年4月から2016年3月まで大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構の新領域融合研究センターの融合プロジェクト特任研究員として、国立情報学研究所で勤務しておりました。

前職では、Web上の予約データやSNSデータなど人の動きに関連するビッグデータを収集・分析することで、政策決定支援を実現するための研究を行っておりました。その中で、観光立国を目指す我が国の方針にのっとり、観光政策に焦点を当てました。研究課題として、「Webデータはどの程度現実世界を反映しているのか」、「どの程度の観光客の行動を代表しているのか」が挙げられます。例えば、宿泊施設を対象とすると、eコマースの特性上、実際の空室数とWeb上に提示されている予約可能プラン数には大きな離れが見られます。そこで、Webで得られる情報から空室数を推定し地域全体の客室稼働率をリアルタイムで推定する手法を確立し、最大誤差7%程度で推定できることを示しました(図1参照)。また、宿泊予約データを利用して、東日本大震災からの復興状況を可視化できることも示しました(図2参照)。

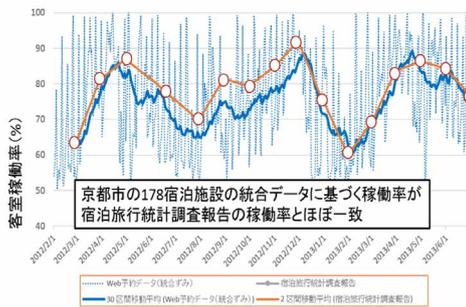


図1:京都市の客室稼働率推定

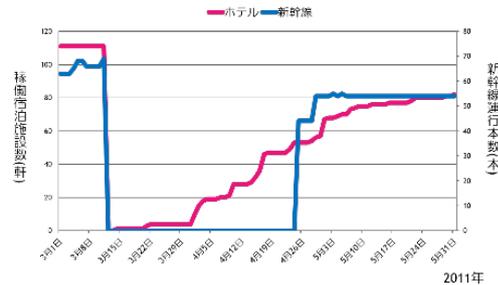


図2:仙台市の復興状況の可視化

### 今後の抱負

若輩ながら新設されたナレッジプラットフォーム部門の部門長を拝命しました。本部門では、観光に関連するものだけでなく、様々なデータを収集し利活用するための基盤を整備し、本学学生のビッグデータ取り扱いに関するスキルアップや地場産業のICT利活用促進を目的としております。現在は、前職で培った手法や経験を基に、その基盤整備やデータの収集・提供の仕組みについて全力で取り組んでおり、ICT基盤センターの一員として大学や社会に貢献していきたいと考えております。よろしくお願い致します。